

第130回 生涯教育研修セミナー

Web

日時 2023年6月24日(土) 午後3:00～午後6:00

方法 **Web配信** ※参加費無料、事前登録制(お申込多数の場合は先着順となります。)

下記のURLまたはQRコードにて6月18日(日)までにGoogleフォームでの参加登録をお願いいたします。追って事務局よりZOOMの登録用URLをお送りします。(ZOOMの登録用URLの送付まで数日いただく場合がございます。)

<https://forms.gle/wcKb7Brnq1V1rX4n9>



参加対象 慶應義塾大学医学部、三四会、慶應医師会、慶應義塾大学関連・紹介病院、東京都地区医師会に所属する医師

取得単位 日本医師会生涯教育制度参加証交付 1.5単位
カリキュラムコード 0

開会の辞

生涯教育研修セミナー委員会委員長 茂松 直之

挨拶

医学部長・慶應医学会長 金井 隆典

慶應医師会会長 安井 正人

三四会会長 武田 純三

テーマ: 『脳腫瘍治療の最前線』

近年、積み重ねられてきた研究成果が、脳腫瘍の治療に変革をもたらしつつあります。遺伝子解析技術やバイオインフォマティクスの進歩は、脳腫瘍の診断に大きな影響を与え、2021年に改訂された脳腫瘍のWHO分類では遺伝子診断が大幅に取り入れられました。神経科学および人工知能技術の進歩は、新たな画像診断や大脳皮質機能・白質神経ネットワークの解明に貢献し、浸潤性に発育する脳腫瘍では脳機能領域がダイナミックに移動する代償性変化が生じやすいことも明らかになってきました。運動機能、言語機能、さらに高次脳機能の温存を目指した覚醒下手術、低侵襲かつ革新的な神経内視鏡手術は、治療概念を大きく変えました。たゆまぬ基礎研究と橋渡し研究の成果として、難治性脳腫瘍に対する有望な新規治療も開発されています。ブレイクスルーとなる新たな研究が創出され、芽生えつつある研究成果が発展を遂げ、脳腫瘍の治療成績がさらに向上することを願っています。

本生涯教育研修セミナーでは、脳腫瘍治療の最前線について、新進気鋭の若手脳外科医から最新の治療研究について紹介していただき、目覚ましい進歩を遂げている最先端手術について、我が国を代表する2名の演者とともに議論できればと思います。

モデレーター：慶應義塾大学医学部脳神経外科学教室 教授 戸田 正博

講演

1. 「悪性脳腫瘍の最先端手術：脳機能の可視化と機能温存」

金沢大学医薬保健研究域医学系 脳・脊髄機能制御学教室 教授 中田 光俊

2. 「脳腫瘍の最先端研究—新たな治療法開発に向けた橋渡し研究への挑戦」

慶應義塾大学医学部 脳神経外科学教室 助教 田村 亮太

3. 「良性脳腫瘍の最先端手術：医療機器の進歩と低侵襲化」

大阪公立大学大学院医学研究科 脳神経外科学教室 教授 後藤 剛夫

挨拶

中外製薬株式会社 代表取締役社長 奥田 修

閉会の辞

慶應義塾常任理事 北川 雄光

次回予定 2023年10月14日(土)開催

【共催】

慶應義塾大学医学部生涯教育研修セミナー委員会／慶應医師会

慶應義塾大学医学部三四会／慶應医学会

中外製薬株式会社

【連絡先】

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35番地

慶應義塾大学医学部総務課内 生涯教育研修セミナー事務局

TEL.03-5363-3611(直通) E-mail: med-somu-3@adst.keio.ac.jp